

学級活動指導案

平成22年9月28日(火) 第2～4校時
10月5日(火) 第2～4校時
11月9日(火) 第1～3校時
6学年1～3組 指導者 眞塩 康彦

I 題材名 修学旅行で自分のよさを生かそう

II 題材設定の理由

(1) 児童の実態

各学級共通して児童は、様々な活動を通して、友達とのかかわりを深め、協力する気持ちをはぐくみ、学級内で仲間意識を徐々に深めている。担任からの聞き取った生活の様子やアンケート結果から、児童の実態を次のようにとらえた。

- 役割や責任を自覚して行動できるが、仲良しグループから拒否されることを恐れ遠慮や気兼ねをし、自分の意志で行動できなかったり、グループの関係を保つことに不安を感じたりする児童もいる。また、友達との関係を深めたいと考える児童も見られるが、自信がないため、それを伝えられない様子も見られる。
- 学級生活についてのアンケート結果では「仲のよい学級」「協力し合える学級」「励まし合える学級」など「人間関係」についてあげる児童が半数以上おり、学級の課題を気付くことができている。しかし、それを自ら積極的に解決していこうとする意識まで至っていないようである。
- 友達のよさをあげられるが、複数挙げられる児童は約半数である。また、自分のよさを挙げられる児童は、少数である。このように、学級の中で自分の存在を肯定的に認識できていない児童が多く見られ、互いに認め合う関係を築く所まで至っていないようである。
- 話し合い活動については、国語や普段の生活で経験を積んできている。しかし、協同的な話し合い活動や児童主体の自治的な話し合い活動にはほど遠く、話し合い活動をどう計画すればよいか戸惑っている児童も見られる。

(2) 題材について

本題材は、学習指導要領における学級活動の活動内容(1)学級や学校の生活づくりーア学級や学校における生活上の諸問題の解決、イ学級内の組織づくりや仕事の分担処理。及び活動内容(2)日常生活や学習への適応及び健康安全ーウ 望ましい人間関係の形成をうけて設定したものである。

このような児童が自主的に話し合い活動を計画、実践し、事後の活動を協力して行うことを通して、自分のよさや可能性を生かして役割を果たし、互いに認め合う関係を築くことが大切である。そのためには、自分を肯定的に認識することが重要であり、さらに他者のよさに目を向ける活動をし、互いに自信をもつことが大切である

そこで、本題材では、平素と異なる生活環境にあって児童相互にかかわりを深める体験ができる修学旅行を取り上げる。活動内容(1)では、互いに認め合う意識や自分のよさに気付き、自分の役割を進んで果たそうとする意識を高めるようにする。事前の活動では、計画委員が中心となって話し合いの活動計画を立て、司会や記録を担当する。話し合い活動では、修学旅行において学級が目指す共通の目的意識をもち、自分の意見を伝え合い、班ごとの修学旅行のスローガンを作成する。また、児童相互の認め合いから、一人一人のよさや適正を生かした役割分担をする話し合い活動を行う。これらの活動を通して、自分のよさに気付き、班のために進んで役割や責任を果たし活動する意識を高めるようにする。さらに体験活動である修学旅行を通して、互いに協力し合う中で互いのよさに目を向け、友達のよさに気付けるようにする。このことから、児童一人一人が互いに認め合い、自分を肯定的に認識でき、自分の役割を進んで果たそうとする意識を高められると考えた。活動内容(2)では、「学級生活をよりよくするために自分のよさを生かす行動を考えよう」という題材で集団討議による自己決定を行い、学級生活の向上のために役立つ行動を考えていく。このような活動を通して、自分の取組を自己決定し、自主的に自分のよさを生かそうとする意識を高めるようにする。事前の活動では、修学旅行での頑張りやよさが学級生活に生かされていないことを課題として課題意識をもたせる。本時の話し合い活動では、修学旅行での友達のよい行動や思いやりの言葉を多く伝え合い、「よりよい学級になるために」という課題から、集団思考を行う。その後、話し合いの内容を参考に自分のよさを生かした取組を自己決定し、活動する。このような活動を通して、自分に自信を持ち、互いに認め合う中で、自分を生かし、自主的に活動する意識を高めることができると考え、本題材を設定した。

Ⅲ 目標及び評価規準

1 目標

修学旅行のスローガンや役割分担を工夫する話し合い活動の中で、集団決定したり、学級生活の向上のために自分の取組を自己決定したりすることを通して、集団の一員としての意識を高め、互いに認め合える関係を築くとともに、自主的に活動することができる。

2 学級活動(1)(2)の高学年における評価規準

観 点	活動内容(1)「学級や学校の生活づくり」	活動内容(2)「日常生活や学習への適応及び健康安全」
集団活動や生活への関心・意欲・態度	修学旅行の充実にかかわる諸問題について関心を持ち、進んで自分の考えやその理由を伝え合って協力して話し合い、自主的に集団活動に取り組もうとしている。	学級や自己の生活の充実、望ましい人間関係の形成にかかわる問題に関心を持ち、進んで自分の思いや願いを伝え合って話し合い、自主的に自分のよさを生かし日常の生活に取り組もうとしている。
集団の一員としての思考・判断・実践	修学旅行を充実するために話し合い、自分の役割や集団としてのよりよい方法について考え、判断し、集団の一員としての自覚を持ち、信頼し支え合って実践している。	学級や自己の生活の充実、望ましい人間関係を形成するために話し合い、自分に合ったよりよい方法について考え、判断し、互いに認め合い、信頼し支え合って実践している。
集団活動や生活についての知識・理解	修学旅行や学級生活をよりよくすることの大切さや話し合い活動の意義、話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。	望ましい人間関係を築くことよきや学級生活をよりよくすることの大切さ、そのための生活の仕方などについて理解している。

Ⅳ 指導方針

- 児童が自主的に話し合いに参加できるよう児童の関心の高い「修学旅行」を議題に取り上げるようにする。
- 児童が協同的な話し合い活動ができるよう「話し合いの手引き」を児童全員に配付して説明を行い、話し合いの意義や仕組みを理解できるようにする。
- 「伝える」「認め合う」過程では、「課題の発見・共同の問題の設定・議題の決定・計画の作成・問題の意識化」の過程を通して事前の活動を行う。その際、計画委員会がアンケート集計の結果から、「友達と絆を深めるために修学旅行のスローガンを考えよう」「班の子のよいところを探して、それに合う係分担を決めよう」などの議題を決定し、「話し合いの手引き」から、計画委員が話し合いの役割や進め方を理解し、活動計画を立てられるようにする。
- 「伝える」過程では、児童が、一人一人の考えを伝え合い、互いに認め合う意識をもてるよう「絆シート①」を取り入れ、スローガンに入れたい言葉とその理由を記入できるようにし、修学旅行のスローガンを班で話し合うようにする。
- 「認め合う」過程では、他の児童から見た自分のよさに気付けるよう「絆シート②」を取り入れ、他の児童のよさやその適性に合う係を整理して記入できるようにし、係を工夫して決定するようにする。
- 「生かす」過程の事前の活動では、修学旅行の体験活動との関連を図り、事後の反省や感想から、「一人一人のよさを学級生活に生かすことはできないか」という課題を基にして題材を設定するようにする。
- 「生かす」過程の話し合い活動では、課題をより具体的に把握し、友達のよいところに気付くことができるよう、修学旅行の班別活動の写真やビデオ画像を提示するようにする。また、「○○すれば□□になる」の○○によさを書き入れ、□□に具体的な取組の言葉を書き入れることによって、よさを発揮することの価値について考えるとともに、よさを生かそうとする意欲を喚起していく。
- 自主的に自分のよさを生かそうとする意識を高められるよう「絆を深める」という言葉に視点を当て、そのためには、どのようによさを生かしたらよいかを話し合うようにする。これらの話し合いを基に学級の中で自分のよさを生かす取組を「絆シート③」に記入し自己決定をする。そして、終末の場面にそれを発表し、認め合うことによって決定したことを取り組んでいこうとする気持ちを高める。
- 「生かす」過程の事後の活動では、自主的に取組を継続して活動できるよう自己決定した取組を重点的に実践する機会を設け、互いのよさを認め合い、評価していくようにする。

Ⅴ 指導計画(全3時間予定)

過 程	活動内容
伝 え る	<ul style="list-style-type: none"> ○「話し合いの手引き」を児童全員に配付して説明を行い、話し合いの意義を理解できるようにする。 ○3学級6名ずつの計画委員を集め、全学級同一歩調で進め、計画委員の児童が話し合い活動の計画、運営ができるよう「話し合いの手引き」を説明する。また、学級目標に関するアン

		<p>ケート集計結果から、議題を決め、活動計画を作成する。</p> <p>○課題の発見→共同の問題の設定→議題の決定→計画の作成→問題の意識化の過程を通して話合いの準備をしていく。</p>
	活動①	<p>○計画委員がアンケート集計結果を発表する。</p> <p>○計画委員が話合いのめあて、提案理由を発表する。</p> <p>○「絆シート①」に修学旅行のスローガンにしたい言葉とその理由、順位を記入する。</p> <p>〔話合いの柱〕自分の思いを生かし、絆を深める修学旅行のスローガンを考えよう。</p> <p>○「絆シート①」から児童の思いや願いを伝え、共有し、班のスローガンを作成する。</p>
	事後	<p>○振り返りとして自己評価、相互評価を行う。</p> <p>○班ごとのスローガンを発表し、掲示物を作成する。</p>
認め合う	事前	<p>○計画委員が、課題意識をもって話し合えるよう「話合いの手引き」を取り入れ、活動計画を作成する。</p> <p>○「絆シート②」を取り入れ、一人一人が班の児童の性格、行動、技能面にかかわるよさをそれぞれ記入しておく。</p>
	活動②	<p>○「絆シート②」に個々の児童のよさからその適正に合う係を記入する。</p> <p>○自分のよさに気づき、役割を進んで果たそうとする意識を高めるよう「絆シート②」に記入した互いのよさを基に、班の役割分担を決める話合いを行う。</p> <p>〔話合いの柱〕班の子のよいところをさがして、それに合う係分担を話し合って決めよう。</p> <p>○事前に記入しておいた絆シートを基に班のメンバーについて個々の児童のよさや適正に合う役割を班で話合い、自己決定を踏まえた集団決定をする。</p>
	事後	<p>○振り返りとして自己評価、相互評価を行う。</p> <p>○係で決めたことを実行する。</p>
生かす	修学旅行(鎌倉班別行動)	
	事前	<p>○計画委員を中心に課題の発見、共通の課題設定、計画の作成、問題の意識化の過程を通して、話合いの準備をしていく。</p> <p>○修学旅行での活動を振り返り、友達や自分のよさに気付かせ、意見をもつようにする。</p>
	活動③	<p>〔話合いの柱〕学級生活をよりよくするために自分のよさを生かす行動を考えよう。</p> <p>○「みんなのために」「絆を深めるため」などのめあてから、互いに認め合い自分のよさを生かし、自主的に活動しようとする意識を高めるため、学級をよりよくしたい思いや願いを共有し、学級が目指す姿を話し合うようにする。</p> <p>○「絆シート②」でのよさを資料として配付し、話し合ったことをもとにして、「絆シート③」を取り入れ、自分が学級のために生かす活動内容を自己決定する。</p>
	事後	<p>○自己決定したことに取り組み、自己評価し、実践を継続していく。</p>

VI 道徳との関わり

本題材は、小学校学指導要領解説 道徳編の内容項目「4 主として集団や社会とのかかわりに関すること(3)身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす」「2 主として他の人と関わりに関すること(3)互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し合い、助け合う」に深くかかわる。活動内容(1)では、修学旅行の個々の児童の思いを生かしたスローガンの作成やよさの認め合いから役割分担について話し合う。そして、一人一人の役割を果たすことで、信頼を深め、望ましい人間関係を育成し、信頼、協力、助け合いなどの道徳的価値を養うことができると考える。

活動内容(2)では、自分のよさを学級のためにという観点から見直し、話合いを通して個々の取組を自己決定する。そして、児童相互のかかわりを深め、互いに認め合うことによって、自主的によりよい生活を作り上げていく。このように個と集団の関係について道徳的価値を実践を通してはぐくむことができると考える。

Ⅶ 本時の活動(1/3時間)

(1) ねらい

修学旅行での生活を充実させるために、話し合いの観点を意識しながら、修学旅行のスローガンについて話し合い、集団決定するとともに、互いに認め合う意識を高める。

【活動内容(1) 学級や学校の生活づくりーア 学級や学校における生活上の諸問題の解決】

(2) 準備

(教師) (ワークシート「絆シート①」) アンケート結果、電子黒板、ノートパソコン、

(計画委員) 「話し合いの手引き(司会の言葉、活動計画)」 記録ノート

(児童) 「話し合いの手引き」、筆記用具

(3) 展開

主な活動内容	指導上の留意点	時間
<p>1 話し合いの目的を把握し、見通しをもつ。</p> <p>・計画委員会からアンケート集計結果発表と議題提案をする。</p>	<p>○計画委員が見通しをもって話し合いの進行ができるよう、「話し合いの手引き」から活動計画や司会の言葉を作成し、活用するようにする。</p> <p>○話し合いの目的を明確にできるよう計画委員の議題提案の後に、教師から話し合いのめあてや観点、約束などを確認しておくようにする。</p> <p>○話し合いへの意識を高めるために、計画委員による議題提案において、アンケートの集計結果から、「友達のよさが見付けられる児童が少ない」「友達との関係をよくしたい」等を伝えるようにする。</p>	5分
<p>2 「絆シート①」に修学旅行のスローガンに入れたい言葉とその理由、順位を考え、記入する。</p>	<p>○効率的な話し合いをするために、話し合いの柱を一つに絞り、個々の児童が自分の意見を十分に伝える時間を確保する。</p> <p>○一人一人の思いを伝えられるよう「絆シート①」を取り入れ、修学旅行のスローガンに入れたい言葉やその理由を複数記入できるようにする。</p> <p>○記述していることを確認しながら、机間指導し、記述が不十分な子には、1つでも多くの思いがかけよう支援する。</p>	10分
<p>3 班のスローガンを決める話し合い活動を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>話し合いの柱 自分たちの思いを生かした修学旅行のスローガンを考えよう。</p> </div> <p>・「絆シート①」の記述したことを発表する。</p> <p>・キーワードを絞り込み、班のスローガンを作成する。</p>	<p>○各学級、5班編制、5～6名男女混合の班で話し合うため、机をグループごとに移動する。司会は、各班の計画委員(班長)が行う。</p> <p>○児童相互に認め合う意識を高められるよう事前の活動で計画委員と決めた「友達のよいところ発見」を位置付け、児童の素直な思いや願いを共有しスローガンを作成できるようにする。</p> <p>○班の話し合いで言葉を絞り込み、スローガンを作成する。</p> <p>○意見のよさを取り上げることを基本とし、納得したものとなるよう、付け加えの意見や併せて一つにするなど、いくつかの考えのよいところを取り入れた考えや折り合いを付けて集団決定できるようにする。</p>	20分
<p>4 話し合ったことをもとにして、自分の目標を記入する。</p>	<p>○話し合いの結果、作成したスローガンを意識付けできるように、ワークシートに個人の目標を設定するようにする。</p>	5分

5 各班のスローガンとその理由を発表する。	○各班のスローガンと理由を伝え合い、考えを共有する。 ○各班の発表後に、計画委員(班長)の頑張りに温かい 励ましの言葉を贈り、次回への意欲付けをするとともに、児童全員には、各班のスローガンのよさや頑張りを促すようにする。	5分
-----------------------	---	----

評価項目	○考えを明確にして意見を伝え、修学旅行のスローガン作成に積極的に参加しようとしている。 ○修学旅行の充実に向けて、学級や班の一員として、協力して目標を設定し、互いに認め合う意識をもつことができる。
------	---

Ⅶ 本時の活動(2/3時間)

(1) ねらい

修学旅行での生活を充実、向上させるために、修学旅行での仕事分担を工夫する話し合い活動を行い、児童相互の認め合いから、自分のよさに気づき、進んで自分の役割を果たそうとする意識を高める。

【活動内容(1) 学級や学校の生活づくりーイ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理】

(2) 準備

(教師) ワークシート(「絆シート②」)、電子黒板、ノートパソコン、
 (計画委員) 「話し合いの手引き(司会の言葉、活動計画)」、記録ノート、係カード
 (児童) 「話し合いの手引き」 筆記用具

(3) 展開

主な活動内容	指導上の留意点	時間
1 話し合いの目的を理解し、活動の見通しをもつ。 ・計画委員会からの議題提案をする。 ・「絆シート②」の説明を聞き、記入の仕方を理解する。	○事前の活動に、班のメンバー全員について、「性格」「行動」「技能面に関する」などの三種類のよさを「絆シート②」に記入しておくようにする。 ○見通しをもって話し合いの進行ができるよう、計画委員が、「話し合いの手引き」から活動計画や司会の言葉を作成し、活用できるようにする。 ○話し合いのめあてや話し合いの観点を確認したり、話し合いの流れを掲示したりして、これから話し合うことを確認する。 ○一人一人のよさを考え、それに合う係を考えることを理解できるように電子黒板を活用し、記入の仕方を説明をする。	10分
2 「絆シート②」に班の児童のよさを考え、それに合う係を考え、記入する。 ・三種類のよさに合う係をそれぞれ記入する。 ・一番適性に合う係を記入する。	○一人一人のよさを引き出せるよう「絆シート②」を取り入れ、三種類のよさから、それに合う係を複数記入できるようにする。 ○記述していることを確認しながら、机間指導し、記述が不十分な子には、考えが書けるよう助言をする。 ○話し合いを効率に進められるよう、一番その子の適性に合うと思う係を選び、記入しておくようにする。	10分
3 個々のよさを生かし、話し合い係決めを行う。 (話し合いの柱1)	○班長は、計画委員として司会をする。副班長、時計係(地図係)、保健係、記録(カメラ)係の役割を決める話し合いをする。 ○班の重複を避けるため、司会者が決定していない係が把握	

<p>各班で、班の子のよいところをさがして、それに合う係分担を決めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班のメンバーの子のよさとそれに合う係名を発表する。 ・班別で修学旅行の係分担について話し合い、決定する。 	<p>できるよう班ごとに係カードを配付する。その際、司会者が、決定した係のカードを渡すようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の友達について話し合えるよう「絆シート②」を基に話し合いの時間を十分設けるようにする。その際、メンバー全員のよさやそれに合う係を発表した後に、係分担を決めるよう助言をする。 ○互いのよさの認め合いから班の役割分担を決め、自己決定を踏まえた集団決定ができるよう、班の友達に合う係を集団決定し、本人に了解をとって、決定するようにする。 ○責任をもって係を引き受けられるよう係の仕事内容について助言を行うようにする。 ○教師の話の際には、計画委員(班長)の頑張りに温かい励ましの言葉を贈り、意欲付けをするとともに、児童全員には、協力し合って集団決定できた頑張りを賞賛する。 ○自己評価、相互評価を行う。 	25分
---	---	-----

評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ○理由を明確にして意見を発表し、係分担決めの話合いに進んで参加している。 ○修学旅行の充実に向けて、協力し合って集団としての意見をまとめることができる。また、自他のよさに気づき、協力する態度や自分の役割を進んで行おうとする意識をもつことができる。
------	--

Ⅶ 本時の活動(3/3時間)

(1) ねらい

修学旅行の体験から、相手を思いやり、人のためになるような言葉や行動を基に、学級生活の向上に役立つ行動について話し合い、自分のよさを生かす取組を自己決定し、実践することによって、学級のために自主的に自分のよさを生かそうとする意識を高める。

【活動内容(2)日常生活や学習への適応及び健康安全ーウ 望ましい人間関係】

(2) 準備

(教師) ワークシート(「絆シート③」)、「修学旅行の班活動日記」のフラッシュカード、写真、ビデオ画像、板書用短冊

(計画委員) 「話し合いの手引き(司会の言葉)」、記録ノート

(児童) 「話し合いの手引き」、筆記用具

(3) 展開

主な活動内容	指導上の留意点	時間
<p>1 話し合いの目的を把握するとともに修学旅行での友達や自分のよいところについて意見を出し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○修学旅行の班活動から友達のよいところや自分の取組について確認し、本時のめあてをつかむようにする。 ○修学旅行を振り返られるよう「修学旅行の活動日記」から友達のよさや班活動の成果をフラッシュカードで提示するようにする。 ○修学旅行での活動を画像として電子黒板で見せ、具体的な場面や行動を示すことによって、様々なよさに気付かせるようにする。 ○友達のよさをできるだけ挙げることによって、様々なよさがあることを知る。 	8分

<p>3 「絆シート③」に「みんなのため」「絆を深めるために」等の観点から、「より学級をよくする」ために、具体的な行動を考える。</p>	<p>○「だれのために取組んだか」「みんなのために」とはどういうことなのか。「今後、学級をどうしたいかを」を全体に投げかけ、意識付けるようにする。</p> <p>○「みんなのため」「絆を深めるために」という視点から、ワークシート(「絆シート③」)に自分や友達のよさを学級生活に生かす方法を記入できるようにする。</p> <p>○「○○すれば□□になる。」という文の○○によさを書き、□□に入る言葉を考えることによって、自分のよさを生活に生かす取組を「絆シート③」に記入するようにする。</p>	<p>10分</p>
<p>4 学級が目指す姿と自分のよさのつながりについて考え、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>話し合いの柱 友達の考えを聞いて自分のよさを生かして、より学級をよくするためにできることを考えよう。</p> </div> <p>・「～(すれ)ば、学級の絆が深まって、よりよい学級になる。」</p>	<p>○計画委員は、様々な意見を出し合う場面と小集団による話し合い活動の司会をすることを確認しておき、司会、黒板、ノートの記録など、話し合いを進めるようにする。</p> <p>○記入したよさを生活に生かす具体的な行動を発表する。</p> <p>○個人から全体へと考えた内容を交流させていくことによって、様々な価値にふれられるようにする。</p> <p>○学級の児童の願いでもある「絆を深める」という児童の願いを引き出せるようにし、友達との関係を深めるために必要なことを考えることによって、学級が目指す姿を具体化する。</p> <p>○「話し合いの手引き」の「意見の言い方、聞き方」を掲示し、考えの根拠や理由について明確にして発表できるようにする。</p> <p>○多様な価値観や考えにふれられるよう発表した意見を賞賛し、できるだけたくさんの児童の意見を引き出すことができるよう発言を促すようにする。</p> <p>○全体での発表が滞る場合には、近くの友達で、小集団で発表し合い、まとめるようにする。</p>	<p>20分</p>
<p>5 話し合ったことを基にして、学級のために自分のよさを生かす取組を自己決定する。</p>	<p>○自分のよさを生かした取組を自己決定できるよう「絆シート③」に自己決定したことを記入する。その際、「絆シート②」で友達からか挙げられたよさを三つ選び、具体的に記入できるようにする。</p> <p>○事前に決めていた取組と違うものでもよいことを伝え、話し合いでの友達の意見から自己決定するよう助言をする。</p> <p>○1週間程度の期間を決めて、自己決定した内容を実践し、振り返ることを伝える。</p>	<p>7分</p>

<p>評価項目</p>	<p>○自分や友達のよさに気づき、様々な視点から、意見を発表しようとしている。</p> <p>○話し合いを参考に、自分の行動を振り返り、「学級のために」「絆を深めるために」という観点に基づいた取組を自己決定し、自分のよさを生かして実践しようとする意識をもつことができる。</p>
-------------	---